

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(芳川小)学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校の基本方針について熟議できたと判断します。  
澤田校長先生から芳川小学校の基本方針について詳しくお話を伺えた。  
経営理念は「子どもが幸せ」であることであり、学校教育目標である「夢に向かってともにかがやく」ために目指す子どもの姿を具体的且つ、丁寧に説明をしていただいた。  
その中で学校の現状を知ることができ、目標に向かって地域や家庭も協力して子どもを育てる必要があることを認識できた。  
その上で、委員一人一人がそれぞれの立場や観点からの意見を出し合い、熟議することができた。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

学校運営に資する活動について、熟議を進められたと評価します。  
教育目標の達成に向け、学校支援コーディネーターの発案により、ボランティア《ほうがわクスノキ応援団》を設立した。設立後、迅速で的確な取り組みにより活動がスタートし、朝の見守り、予定確認、宿題チェックなど、教師の負担を軽減することができている事をいただいた感想から推測できる。その情報を基に、これからの活動をどう発展していけば、より良い授業づくりの手助けになれるのか、ひいては「子どもが幸せ」な学校を作る事へ繋げていけるかの、深い話し合いができたと思われ、熟議ができたと判断する。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

学校教育の実態を把握するためにも、参観会や学校行事へ参加できる機会を増やしていきたい。今年度はコロナ禍の影響もあったが、校長先生の努力により、学校と関わるチャンスを増やしていただいたと思う。  
立ち上げた《ほうがわクスノキ応援団》のボランティア協力の呼びかけなどを通し、地域や保護者への教育実態の周知も進めていきたい。  
応援団の活動内容や、地域・家庭への情報発信方法など、掘り下げた話し合いを重ねていけたら、と思う。